

報告 **日・タイ青少年交流**

2009年5月3日から10日まで、タイ・シンブリ校から学生と先生が来日し、日本に住む学生との交流の機会を持ちました。参加者からの報告と感想をお届けします。



みのお教学の森キャンプ場にて

<スケジュール>

- 3日 タイグループ関西空港着 キャンプサイトに集合
- 4日 タイ料理作り、落語体験、わいわいトーク
- 5日 まとめ & 発表 夕方、ホームステイ先へ移動
- 6日 大阪市内見学（海遊館など）
- 7日 日本の生活様式体験（ホストファミリーと）
- 8日 学校訪問・授業参加 17時～ とよなか国際交流センターにて報告会とパーティー
- 9日 京都見学（太秦映画村と京都市内）
- 10日 午前、豊中市内見学 午後、バンコクへ。

日・タイの学生たちの今後の活躍に期待

TIFA代表 葛西美紗

タイ国立シンブリ校とTIFAとの交流は2004年から始まり、5年目を迎えます。日本語クラスへのボランティア教師の派遣やタイ・日本相互のスタディーツアーなどを通して友好関係が続き、将来日本とタイとの懸け橋的仕事に就きたいという生徒が出てきています。今回、若者同士が直に接し、お互いを知り合い、打ち解けあう中から両国間の理解・交流を深めたいと、日・タイ学生交流のキャンプとホームステイ交流を実施しました。親の国際結婚で来日して、大阪の高校に通うタイ人高校生もキャンプに参加しました。日頃は日本語・日本の生活に不慣れなため、学校や地域で孤立しがちだった彼らが、このキャンプに参加し、リーダーとして活躍しているタイ人留学生やタイで日本語を勉強しているシンブリ高校生から刺激を受けて、目標を見つけたようで、とても活発に活動しました。22名の学生（高校、大学、院生）が寝食を共にするキャンプは、期待以上の友好を深め、それぞれが将来へ向けて踏みだすきっかけを見つけたようです。彼等のこれからの発展・活躍に期待しています。



シンブリの学生が梅花高校の授業に参加

パクシニー先生（シンプリ校副校長）の感想

はじめての日タイ国際交流キャンプで、とてもいい経験をさせていただきました。
料理の作り方を教えあったり、日本の落語を練習したり、人前で演じたり。何よりみんなが協力し、助け合えたことが素晴らしかったと思います。“わいわいトーク”では参加者がすぐに仲良くなり、友だちや兄弟のような関係がすぐにできたのにはびっくりしました。友達になるのは言葉が違って大丈夫なんですね。国際的な交流活動は、「出会って知り合って、話し合う」ことが大切です。こんどはぜひタイに来てください！



うわっ、辛い！



落語の発表会

学生の感想より

- ▶自信をもって日本語を話せるようになった。
- ▶わいわいトークで意見交換ができたのが一番よかった。
- ▶日本に住むタイ人高校生の苦労した話に考えさせられた。
- ▶タイ人のふところの深さに驚いた。
- ▶遊ぶだけでなく互いの歴史や文化も勉強すべきと思う。
- ▶日本人とか外国人とかいう概念は必要ないなと思った。
- ▶「交流」ということを学んだ。
- ▶シンプリ高校の生徒たちのまっすぐな瞳に感動。
- ▶明るいタイの子たちに心を溶かされたような気持ち。
- ▶みんな優しい。仲良くしてくれてありがとう。



この事業は、国際交流基金および豊中市民公益活動助成より支援を受けて実施しました。
ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。